



守れ！サクラソウ

議会質問はこちらから▶



さいたま市議団
YouTube

国の特別天然記念物である田島ヶ原サクラソウ自生地のサクラソウの株数が、昨年 45万株と過去最低を記録しました。私は、2018年6月定例会での一般質問を皮切りに、繰り返し保全強化を求め、外来種トウネズミモチの伐採やかん水対策、国庫補助の活用などが実施されました。その結果、2022年には10年ぶりに株数が増加し61万株となりましたが、再び減少に転じ、現在は存続の瀬戸際にあります。

サクラソウ自生地は桜草公園内にあります。本来サクラソウを守るためにあるべき公園が、都市公園課の所管のもと、レジャー利用を中心に整備されていることが問題ではないでしょうか。そのため、桜草公園をサクラソウ保全最優先の管理体制へと移行するよう求めました。

介護の充実を全力で



高齢化の進行にともない、一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯、認知症高齢者の増加が予想されます。この状況を支えるのが介護保険制度ですが、介護の現場ではすでに限界を超える負担が生じています。人手が足りず、必要なケアが行き届かない場面も増え、制度そのものが崩れかねない危機的状況です。そこで私は、この危機的状況から抜け出すための市の手立てとして、①介護予防事業の場所の確保②介護人材への市独自補助③地域包括支援センターの体制維持の3点について質問しました。

「いきいき100歳体操」実施場所の確保を

①の質問では、「いきいき100歳体操」の実施場所が不足し、やむなく自宅を開放している市民の例を示しました。自宅提供は負担が大きく、継続にも限界があります。市が「いきいき100歳体操」を推奨するのであれば、その実施場所の確保という課題に真剣に向き合うべきだと求めました。これに対し市長は、「関係機関と連携・協働し、多様な会場の確保に積極的に努めることで、会場不足の解消に取り組みたい」と答弁しました。

高齢者へのバス料金割引を求める

高齢化が進むなか、運転免許を返納した市民からは「外出手段はバスしかない」という切実な声が多く寄せられています。返納後の移動に不安を抱き、返納をためらう人も少なくありません。外出機会の減少はフレイルや孤立を招くため、多くの自治体では高齢者の外出支援としてバス運賃助成を実施しています。しかし、さいたま市では「実証実験を検討」としながらも制度化の動きが見られません。運賃助成は外出促進や健康維持、地域経済の活性化、路線維持にもつながる重要な施策であり、もはや検討段階ではなく早急な実施が求められます。



フリースクールへの市独自補助の実施を！



不登校の児童生徒数は全国的に増加しており、さいたま市でも昨年度は2858名と増え続けています。今回は、フリースクールに通うことを希望する子どもの立場に立って質問をおこないました。

不登校の状況は一人ひとり異なり、「学校には行けませんが、民間のフリースクールなら通える」という子どもも少なくありません。一方で、フリースクールには公的支援がなく、経済的理由から通いたくても通えない子どもが多いという課題があります。これは全国的な課題であり、東京都をはじめ、自治体独自で利用者への補助制度を設ける例が広がっています。本市でも東京都のような補助制度を実施するよう求めました。

まちづくり委員会 議案外質問

バス停に駐輪場の整備を求める



多くの自治体がサイクルアンドバスライド（自転車とバスを組み合わせた移動）を推進し、バス停付近に一時駐輪場を整備しています。さいたま市でも同様の整備を進めるべきではないかと質問しました。しかし市は、サイクルアンドバスライドの有効性は認めつつも、コンビニなどに設置して、シェアサイクルの活用を優先したいとして、バス停への駐輪場設置は後ろ向きでした。

道場三室線の信号歩行者にやさしい道路に向けて

すでに開通している中島、町谷、南元宿地域では、歩行者用青信号の時間があまりに短すぎるので改善を求めました。市は警察に改善を求めることを約束しました。

土地買収が進む栄和工区では横断可能な信号が3カ所のみ計画であるため、かねてから住民運動とともに議会でも取りあげ、増設を求めてきました。特に栄和公民館通りより西側は設置の予定がないため、このままでは地域分断の恐れがあります。西側にも信号は必須と訴え、市も警察と協議を進める姿勢を示しました。

新開1丁目

排水ポンプの増設が決まる

2025年の6月議会で求めた、新開1丁目の鴻沼川への排水ポンプの増設が、2026年度予算化されました。2026年度は計画をかため、2027年度に設計、2028年度には設置工事を始められる見通しです。

道場

カーブミラーがついた



新たな施設ができたことで、見通しが悪くなったところへカーブミラーの増設を要望し、設置されました。

町谷

右折信号機がついた



2022年に要望書を浦和西警察に提出。ようやく設置されました。

新開

てすりがついた



住民の方からのご要望を受け、新開橋にてすりをつけました。

住みよい桜区へ

田島

ベンチがついた



2025年の12月議会で提案したベンチが設置されました。